

那賀川水系大規模氾濫減災協議会 令和元年9月 取組状況

■ 取組

1. 円滑かつ迅速な避難行動のための取組

(1) 平時から住民等へ避難行動のための周知・教育・訓練に関する事項

⑦地域の寄り合い、各種団体の研修会、小中学校等における水防災意識社会再構築ビジョンに関する教育・訓練を実施 【四国地整】

那賀川河川事務所は、9月1日（日）に楠根地区自主防災会の依頼を受けて出前講座を実施しました。

今回のテーマは、「那賀川水系河川整備計画の変更」に関する内容であり、①戦後最大規模の洪水を安全に流下させるための目標流量の変更、②那賀川上流域でのダムへの再生に向けての調査・検討、③下流域での堤防強化した上での洪水疎通能力の増大、④激甚化・頻発化する洪水への対応、⑤砂レキが復活し、清流が流れる川づくり等に加え、令和元年8月15日に発生した台風10号による洪水の状況や、長安ロダム改造事業により新設したゲートを活用して初めて洪水調整を実施した状況についても紹介しました。

参加人数も約60名という大人数であり、質疑応答の時間では、「長安ロダムの新設ゲートによる操作状況」や「加茂の堤防事業の進捗状況」等の質問が上がり、防災意識の高さがうかがえました。

今後も、地域住民に河川行政の内容をご理解頂くため、出前講座を通じて那賀川の河川・ダム整備状況や危機管理対応などの情報について、積極的に発信していきたいと思っております。



出前講座の様子



河川整備計画(変更)の説明



令和元年8月台風10号洪水の説明